

男女共同参画推進センターを よろしくお願ひします。

担当あいさつ



理事
(総務、環境施設担当)
やまがき そういちろう
山田 総一郎

4月に人事を担当する理事に就任し、男女共同参画を担当することになりました。本学における男女共同参画推進のための取組としては、育児休業制度や、短時間勤務制度、研究補助者制度、ベビーシッター育児支援制度、センター試験時の一時保育、松本キャンパスにおけるおひさま保育園の充実等が図られ、厚生労働省や長野県から表彰や認定を受けるなどしており、これまでの関係者の皆様のご努力に深く敬意を表したいと思っております。今年度からは、新組織としての男女共同参画推進センターにおいて、全学的に意識啓発、女性研究者等の支援、ワーク・ライフ・バランスの推進のための事業を推進していただくことになっております。私としても、教職員の皆様のお話をよくお聞きしながら、仕事と子育てや介護との両立を図れるような職場環境づくりなどに努力してまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

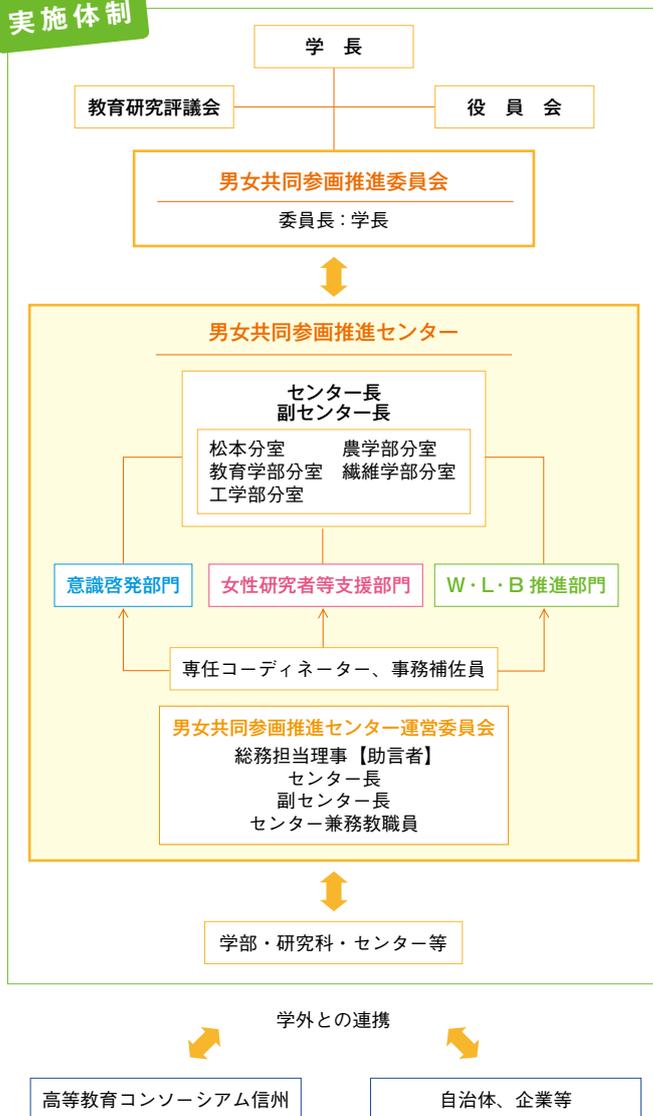


男女共同参画
推進センター長
(学術研究院教育学系教授)
たかき まき
高崎 禎子

平成28年度より、「信州大学男女共同参画推進センター」としてスタートしました。本学のすべての構成員が個性と能力を十分に発揮することができる職場・教育環境の実現を目指してまいります。これまでの取組の中では、多くの方々のご協力により、平成23年度に11.9%でありました女性教員比率が、現在は15.9%まで上げることができました。しかし、女性教員比率は全国平均を下回っており、事務系職員の管理職に占める女性比率も全国平均に届かず、まだまだ努力を続けていかなければなりません。

信州大学の男女共同参画の取組に、教職員及び学生の皆さんのなご一層のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

実施体制



男女共同参画推進センター内には、「意識啓発部門」、「女性研究者等支援部門」、「ワーク・ライフ・バランス推進部門」を置き、全構成員が個性と能力を十分に発揮できる職場・教育環境の実現を目指します。

委員・分室長・分室担当者の紹介

各キャンパスに男女共同参画を広げるため、分室(分室長・分室担当者)を配置しました。
これにより、キャンパス間の連携が強化され、取組を効率的かつ円滑に行い、各キャンパス独自の取組にも発展させていきます。

役職名等	氏名
理事(総務、環境施設担当)	山田総一郎
学術研究院教育学系教授 男女共同参画推進センター長	高崎 禎子
学術研究院保健学系教授 男女共同参画推進副センター長	坂口けさみ
学術研究院人文科学系准教授	花崎 美紀
学術研究院教育学系教授	高橋 知音
学術研究院社会科学系准教授	関 利恵子
学術研究院理学系准教授	中島 美帆
学術研究院医学系助教	藤田 佳子
学術研究院工学系准教授	番場 教子
学術研究院農学系教授	大窪久美子
学術研究院繊維学系教授	志田 敏夫
学術研究院総合人間科学系准教授	兼元 美友
学術研究院社会科学系教授	三枝 有
学術研究院医学系助教	大岩 亜子
教育学部総務グループ主査	増田 靖子
工学部総務グループ主査	青木 正宏
医学部附属病院看護部副看護師長	野瀬 貴可
コーディネーター	横山小夜子
特任教授	松岡 英子
総務部長	大森 浩之
総務部人事課長	本 芳則



松本分室 坂口 けさみ

副センター長として、本学が快適に働くことのできる場であるように努めてまいります。

担当者 岡田 理恵

内線 811-2140
mail
sufre-m-ml@shinshu-u.ac.jp



教育学部分室 高崎 禎子

職場環境の改善のため、困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

担当者 三石 ちひろ 清水 勇登

内線 831-4048
mail
sufre-e-ml@shinshu-u.ac.jp



工学部分室 番場 教子

女性の少ない学部ですが、これからどんどん増えていくようにがんばります。

担当者 齋藤 総優

内線 821-5693
mail
sufre-t-ml@shinshu-u.ac.jp



農学部分室 大窪 久美子

私自身も子育ての経験があります。育児の悩みを共有しながら、共に働いていきましょう。

担当者 大村 久美子

内線 851-3120
mail
sufre-a-ml@shinshu-u.ac.jp



繊維学部分室 志田 敏夫

学部内が男女を問わず、協力できる雰囲気づくりを整えていけたらと思います。

担当者 水科 美香

内線 841-5358
mail
sufre-f-ml@shinshu-u.ac.jp

職場いきいきアドバンスカンパニーの認証を受けました。

長野県で実施している「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証制度に、平成28年5月1日付で承認され、5月9日(月)、信州大学において行われた認証書交付式では、佐々木高行中信労政事務所長より濱田州博学長へ認証書が手渡されました。

職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度とは、仕事と家庭の両立ができる職場環境の改善や雇用の安定を進め従業員がいきいきと働き続けられるような多様な働き方の制度を導入し、実践的な取組を行っている企業等を長野県が認証する制度で、本学は12番目の認証となりました。

佐々木中信労政事務所長からは、「他の模範となるような取組を続けてほしい」とのお言葉をいただき、また濱田学長は、「他企業等の見本となるだけでなく、学生の意識を高められるような取組をより一層推進していきたい」と抱負を述べました。



認証マーク

信州大学における職場いきいきアドバンスカンパニー認証実績

(過去2年間の実績)

- ・非常勤職員からの選考採用制度を利用し、非正規職員を正規職員へ転換しました。
- ・研究補助者制度を利用することで、出産・子育てまたは介護と研究の両立が可能となり、研究者の離職を防止しました。
- ・毎週水曜日をノー残業デーとして設定し、時間外労働を縮減することで職場環境を改善しました。



認証書を手にする濱田学長(右)と佐々木長野県中信労政事務所長(左)

人文学部長 農学部長 インタビュー

平成 28 年 4 月 1 日付で新しく人文学部長に就任された山田先生と、農学部長に就任された藤田先生に、それぞれの学部での男女共同参画やこれからの課題について高崎センター長がインタビューしました。

人文学部長インタビュー

人文学部の男女共同参画について



やま だ けんぞう
山田 健三 人文学部長

人文学部は平成 23 年度に女性教員 6 名から 5 年間で 3 名の女性教員を採用し、平成 27 年 5 月には女性教員比率が 20.5% となっています。採用については、能力が同じであれば女性を優先するようにはしております。人文学部は女子学生が多く、様々なかたちで教員が関わります。悩み事や相談事は、どうしても男性教員だと話にくいということもあると思います。そういうことを考えると女性教員が一定数必要ですので、女性教員の増加を図りたいところです。

また、人文学部の委員会は、できるだけ夜遅くに行わないようにしています。全員が顔をあわせることが第一ですが、なかなか予定の合わないときはメール会議にし、どうしても議論の必要がある時だけ集まるなど、皆さん工夫をしてくれています。

私が気になることのひとつに、ワーク・ライフ・バランスの問題があります。現在は学内保育園等の支援がありますが、さらに働きやすい環境にしていく必要性を強く感じています。

これからの課題等について

私の任期中は労働環境を少しでも改善していきたいと思います。具体的には、現在委員会業務は単年度制で、あまり継承されない部分がありますので、全体を把握できる工夫を現在構築中です。また、お互いの研究をもっと知るように、教員交流を活性化させたいものです。人文学部全体がまとまっていくためには、まず足元を固める必要があります。

女性教員の増加を図りたいところですが、大きな問題として採用ポストに空きがありませんし、現員の昇進も考えなければなりません。希望の持てる環境をつくりたいと考えておりますが、全体として極めて厳しい状況です。さらに、教授と准教授のバランスが悪いことも課題です。教授が少ないと、学部運営等に影響が出てしまいます。

女性教員に限らず、意見を言いやすいような雰囲気を作っていくことは大事だと思っています。男女がうまく補い合いながら、全構成員が気持ちよく働ける環境づくりに腐心したいと思っています。



農学部長インタビュー

農学部の男女共同参画について



ふじ た ともゆき
藤田 智之 農学部長

農学部では平成 26 年に女性限定公募を行い、3 名の方を採用させていただきました。現在テニユアの女性教員は 4 名おり、女性が増えてきたことで変わってきた点は、会議等に参加した際に、男性からは分からない女性の視点でアイデアを出していただいているところです。学生につきましては、現在修士課程には約 3 割 (42 名)、博士課程には約 2 割 (10 名) の女子がいます。コースによっては、大学院の女子学生比率が増えてきているところもあります。

会議は通常 2 時から開催し、遅くまでかからないようにしています。特に職員が参加する会議は遅くても 6 時には終わるように配慮しています。男性が育児に参加することで、学生への対応等で教員としてプラスになる面がたくさんありますので、育児の支援は男性教員も含めて考えていきたい課題です。伊那キャンパスのある南箕輪村には幼稚園・保育園が整備されていて、子育てに優しい自治体と言われているので、自治体の制度を利用しながら環境を整備したいと思います。

これからの課題等について

課題は、助教の公募を行っても女性の応募者がほとんどいないことです。全国的に農学系の女性博士が少なく、他大学との取り合いになり、なかなか優秀な方を採用できない状況です。さらに、現在の制度では計画的な昇進は見込めず、タイミングもありますので、女性教員の確保は非常に難しいところです。そのような状況のなかで、本学の博士課程を修了した 1 名の女性教員が、本年度より他大学に異動しましたことはとても残念に思っています。

大学入試の際はほとんど総動員で行っており、農学部は教職員数も少ないため、一時保育などの支援まで手がまわりません。職員はお互いに協力して子どもを看てもらっているようですが、教員はお互い交流も少なく、家庭の状況も分からない部分がありますので、子どもを預けあうことも難しい状況です。

男女が同じように働ける環境づくりには、バランスが重要だと思います。そのために、社会が変化しなければなりませんし、農学部からも変えていく必要があると思います。男女は身体的特徴が異なり、役割は完全には平等になりません。相互の特徴を踏まえ、お互いが働きやすい環境をつくるという考え方で、取り組んでいきたいと思っています。



■ 本学初の女性役員が就任しました。

平成28年4月1日付で、^{はまのみよこ}浜野 京 理事と^{いわい}岩井まつよ 監事が就任しました。これにより役員における女性比率は22.2%となり、女性役員の就任によって、今後本学の男女共同参画がますます活発になることが期待されます。



浜野 京
理事
(特命戦略(大学経営
力強化)担当)



岩井 まつよ
監事



▲ グループワークの様子



◀ 講師：一般社団法人
日本経営協会
野村 麻記子 氏

■ 女性リーダー研修を開催しました。

平成28年5月27日(金)、松本キャンパス旭会館3階大会議室において、女性事務系主査、主任を対象とした「女性リーダー研修」を開催しました。この研修は、女性だからこそ発揮できるリーダーシップの実践スキルを体験的に習得し、リーダーとして自分自身の成長と共に、部下の主体性を育むための個々の成長支援、組織全体の成熟に貢献できる人材を育成することを目的として実施されました。講師には、一般社団法人日本経営協会の野村麻記子氏をお迎えし、30～40代の職員16名が参加し、コミュニケーションスキルやコーチングスキル習得のためのグループワークなどが行われました。またお昼には先輩職員を交えてのランチミーティングが行われ、和やかな雰囲気の中で意見交換が行われました。

■ 全学部のオープンキャンパスにて男女共同参画推進ブースを設置します。

平成28年7月17日から始まるオープンキャンパスに男女共同参画推進ブースを設置し、パネルの展示や冊子の配付などを予定しております。訪れた女子高校生・高卒生の本学受験者を増加させることを目的とし、本学が男女共同参画推進に取り組んでいることについて、学内だけでなくこれから受験を予定している高校生やその保護者に対して周知します。



このコラムは、本学で子育てをしながらお仕事されている教職員の方に、日頃の育児の様子をご紹介いただくコーナーです。

昨年2月、空き家となっていた妻の実家を改築して山形村に引っ越し、同年4月、2歳になった息子は保育園に通いはじめ、妻は職場復帰をしました。

平日の朝食は3人でとるようにしていますが、帰りは遅くなる事が多く、保育園の送り迎えから寝かしつけまで、妻が担ってくれています。せめて休日だけでも妻の時間が作れるように



しています。土日、1週間ぶりに子どもと遊ぶと、「先週できなくて泣いていたのに、いつのまに…」ということが沢山あります。遊びの幅が広がるように、いろいろ考えて遊んでいます。

ぬのめ ひさお
布目 久夫 主任 | 医学部附属病院
医事課医事係



家族構成

妻・息子(3歳3ヶ月)

お子様からの呼ばれ方

とーと(パパと呼ばせなくなかったので、発語の時期に言いやすい「とーと」と覚えさせました)

休日にスカイパークへ行くことが最近の習慣です。公園で遊んで、飛行機やヘリコプターの離着陸を見て、図書館で本を借りて帰るコースを、子どもも楽しみにしているようです。



今秋9月に第2子の出産を控えています。妻の床上げまでの期間中は短時間勤務の利用を考えていますが、仕事と育児と家事をどうこなしていくかが課題です。

家族3人新たなステージの1年目が過ぎました。山沿いの田舎暮らし、猿と縄張り争いをする事もありますが、それも季節の風物詩と日々楽しんでます。

次回はコチラ！ 山田 哲 先生 学術研究院助教(医学系(附属病院))

お問い合わせ

信州大学 男女共同参画推進センター (SuFRE)

スフレ

信州大学 スフレ

検索



松本分室
〒390-8621 松本市旭 3-1-1
内線 811-2140
TEL 0263-37-2167
FAX 0263-37-3314
mail sufre-m-ml@shinshu-u.ac.jp

教育学部分室
〒380-8544
長野市西長野 6- 口
内線 831-4048
TEL/FAX 026-238-4048
mail sufre-e-ml@shinshu-u.ac.jp

工学部分室
〒380-8533
長野市若里 4-17-1
内線 821-5693
mail sufre-t-ml@shinshu-u.ac.jp

農学部分室
〒399-4598
上伊那郡南箕輪村 8304
内線 851-3120
mail sufre-a-ml@shinshu-u.ac.jp

繊維学部分室
〒386-8567
上田市常田 3-15-1
内線 841-5358
mail sufre-f-ml@shinshu-u.ac.jp